

産業界とのネットワークによる事業化を加速する

産学共創グラント

令和8年度 募集



大阪大学公式マスコットキャラクター
「ワニ博士」

現在、日本の研究現場では、公的研究費だけでは不足しがちな「ビジネスモデルの構築」や「試作開発」「仮説検証（PoC）によるデータ収集」、「経営人材の確保」といった、研究成果と社会実装の間のギャップ（デスバレー）を埋める支援が喫緊の課題となっています。

本グラントは、社会実装可能性の高いコア技術を有する本学研究者に対し、上記の課題を解消するための「試作品製作」や「仮説検証（PoC）によるデータ収集」等に使用できる資金支援、および「共創Hub+」等による伴走支援を行い、研究成果の社会実装を強力に後押しすることを目的とします。

助成金額

最大

1,000万円

助成期間

原則

令和8年**4**月～令和9年**3**月

より大きなインパクトや成果の創出が見込まれると判断された案件については、さらに1年間の継続延長を検討します。**(最長3年間)**

採択件数

4 件程度

募集対象

詳細は裏面・募集要領をご確認ください

- ・全研究分野（※但し、産業パートナーとの連携等により助成事業終了後、約3年以内に社会実装・産業利用が見込める研究が対象）
- ・大阪大学の教職員（※特任研究員（常勤）等を含む。但し、招へい研究員は除く）
- ・本学の研究成果について、起業を通じた実用化を目指していること

申込期限

2/17 (火)

募集要項・申請書類

(ICHO掲示板)

<https://icho2.sharepoint.com/sites/ou-portal/Lists/info/DispForm.aspx?ID=17637&pa=1&e=2xhgD1>



お問合せ先

大阪大学 共創機構 産学共創グラント運営事務局 担当: 玉手・小山

E-mail: sangakukyousou-grant@ccb.osaka-u.ac.jp 電話: 06-6879-7862

本グラントは、株式会社りそな銀行から豊中市へ行われる「企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）」を活用した寄附を財源としています。本学の研究成果を社会実装へと繋げるための本取り組みに対し、多大なるご支援を賜りました豊中市へ深く感謝の意を表します。

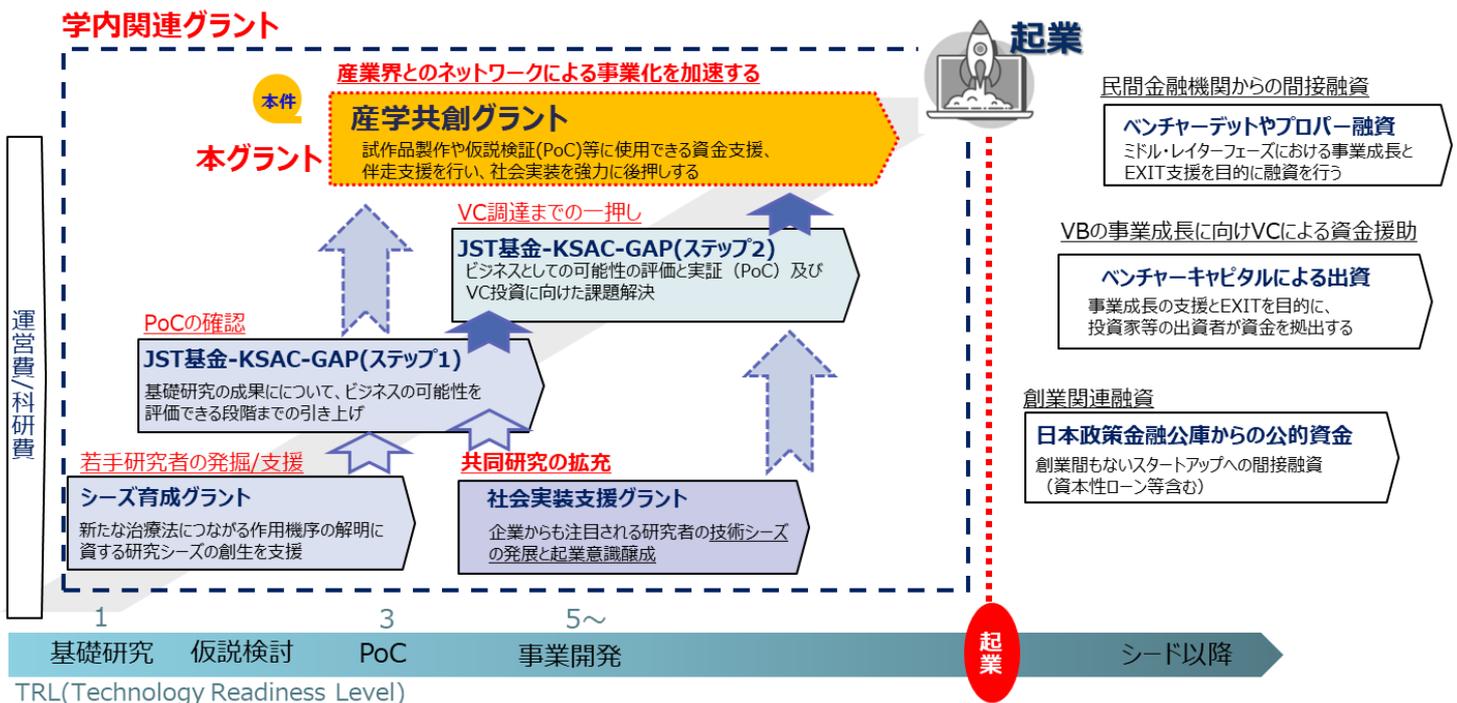
スケジュール



募集要領の概要

実施の目的	社会実装可能性の高い技術を有する研究に対し、「試作品製作」や「仮説検証(PoC)によるデータ収集」等に使用できる資金支援・伴走支援を行い、研究成果の社会実装を強力に後押しする
助成金額	上限 1,000万円/年
助成期間	1年間（但し、より大きなインパクトや成果の創出が見込まれると判断された案件については、さらに1年間の継続延長を検討します。(毎年度モニタリングを実施し、当初採択時より最長3年間)
募集資格者	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪大学の教職員（特任研究員（常勤）等を含む。ただし招へい教員は除く）であること ・本学の研究成果について、起業を通じた実用化を目指していること ・支援期間において、JST 大学発新産業創出基金事業において実施されるスタートアップ創出に係るGAPファンドの受給を受けていないこと
評価項目	①コア技術・研究シーズの独創性(3点満点)、②市場性・社会インパクト（3点満点） ③事業化・社会実装への可能性(4点満点)、の合計10点満点
審査等	学内外の専門家により構成される審査会において、採否及び助成金額を決定
伴走支援	共創機構や「共創Hub+」、その他事業化支援アドバイザーなどにより、事業化・社会実装に向けたアドバイスや、産業界のネットワークを活用した最適なパートナー候補企業などとのマッチングを通じて、研究者の伴走支援を強力に行います
アウトカム	<ul style="list-style-type: none"> - 起業後、研究代表者が設立するスタートアップへのライセンス付与 - 産業界の中で、研究シーズの成果を必要とする既存企業へのライセンス付与、など

学内グラントの全体像



本グラントへの応募にかかる情報は、大阪大学共創機構内に共有いたします。また、学内グラントの運営の他、共創機構からのご案内などに利用させていただきます。なお、利用目的の全文や利用の範囲など個人情報の取扱いについては、以下のURLよりご確認ください。

◆大阪大学共創機構 <https://www.ccb.osaka-u.ac.jp/privacy/>